

◎◎。レジャー。観光面の期待は大きい

近くには……



▲ゴルファーに人気の高い「甘楽カントリークラブ」



▲江戸時代の風情を感じさせる「武家屋敷」



▲4月のオープン目指して、急ピッチで工事が進む「甘楽ふるさと館」



甘楽町長 田村 利 良

官民一体で利用模索を

突然の温泉騒ぎに、多くの町長が期待と関心を寄せていることと思います。
今はまだ、具体的にどうこうする段階でないので、事業主の意向をよく聞いて、対処していきたくと考えています。場所は、上毛三山が眺望で

きる、福の要に位置しているので、自然環境を生かした、地域に溶した開発が基本になると思います。しかし、なんといっても問題はお湯の量。湯量によっても開発の程度も変わってくると思います。温泉が出れば観光客の数も

増え、地域経済にいろいろな波及効果をもたらします。ぜひとも振り当ててもらいたいものです。
「行政も住民も、何もしない、ただ見てるだけ」そういうのがいちばんいけないことです。何を行うにも、土地

を提供できるような、受け皿ができていることが前提条件になるでしょう。
地方の時代を越え、この温泉を、町の活力増進に、どう結びつけていくかが、今後の課題だと思えます。
温泉の利用法については、行政・住民・企業が一体となって「甘楽町の隆盛を図る」というような観点から考えてほしいと思います。